

算

平成 27 年度の町の決算です。
町が行っている事業は、
皆さんが納めた税金や、
国・県からの支出金などでまかなわれています。
決算は、このお金が皆さんの暮らしやまちづくりの中で、
どのようにいかされてきたかをまとめたものです。
では、町の家計簿のあらましを見てみましょう。

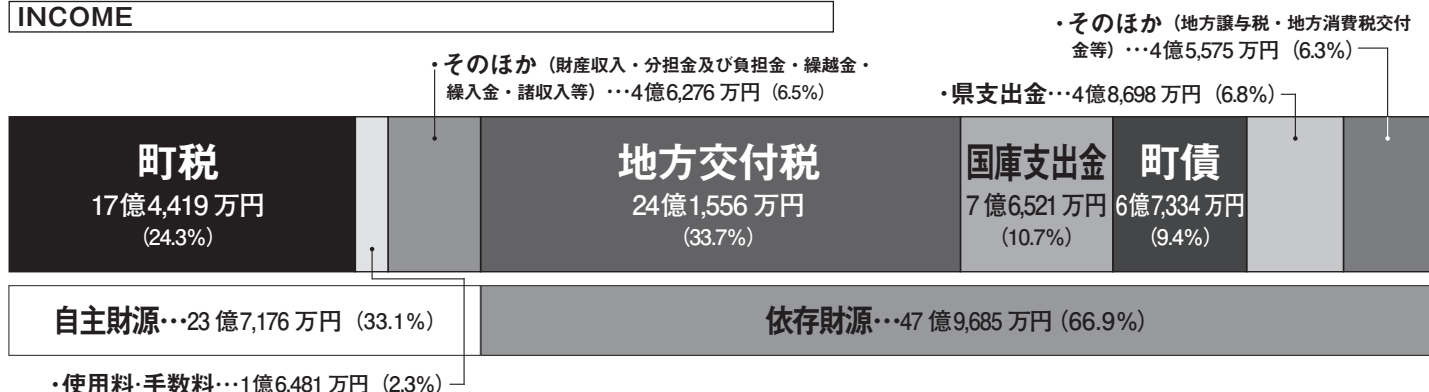


平成 27 年度
町の家計簿

一般会計

収入 71 億 6,861 万円

INCOME



※数字は四捨五入しているため、必ずしも合計と一致するとは限りません。

住民サービスの向上と新たなニーズに迅速かつ的確に対応できるよう、財源の確保に努め財政の健全化を図っています。

一般会計の収入総額は、71 億 6,861 万円です。収入は、自主財源と依存財源に分けることができます。

自主財源は、町税や使用料・手数料、財産収入、繰越金、繰入金など、町が独自に収入した財源で、平成 27 年度は 23 億 7,176 万円。そのうち町税は 17 億 4,419 万円で、収入全体の 24.3% を占めています。

依存財源は、地方交付税や国・県からの支出金、町債などで今年度は収入全体の 66.9% を占めています。このうち収入全体の 33.7% を占める地方交付税(全国各市町村の財政力のバランスを取るために国から配分されるお金)は 24 億 1,556 万円、国からの支出金は 7 億 6,521 万円、町債(道路や公園、学校など町が行う建設事業などの資金を調達するために国などから借り入れるお金)は 6 億 7,334 万円、県からの支出金は 4 億 8,698 万円となっており、依存財源による収入は 47 億 9,685 万円となっています。

地方債の残高

平成 27 年度の鞍手町の決算における地方債(借金)の残高は次のとおりです。一般会計の平成 27 年度末残高が増えた主な要因は、小学校屋内運動場耐震補強工事に 1 億 5,620 万円の地方債を借り入れたためです。

○地方債残高

会計の名称	平成26年度末残高 ①	平成27年度借入額 ②	平成27年度償還額 ③	平成27年度末残高 ①+②-③
一般会計	83億9,706万円	6億7,334万円	5億5,544万円	85億1,496万円
鞍手町流域関連公共下水道事業特別会計	34億9,489万円	1億220万円	1億3,376万円	34億6,333万円
地方独立行政法人くらて病院貸付金特別会計	15億9,352万円	5,740万円	2億825万円	14億4,267万円
鞍手町水道事業会計	11億2,206万円	0万円	3,073万円	10億9,133万円

まちづくりの基本となる第4次総合計画（後期）に基づき、 限りある財源の効率的な運用に努めました。

平成27年度はどんな仕事にお金を使ったのでしょうか。一般会計の支出総額は、70億5,627万円です。町民1人当たり41万9,342円が使われたこととなります(平成27年4月30日現在人口16,827人)。

支出は、使われるお金の目的によって総務費や民生費、土木費など14の項目に分けられています。このうち最も大きな割合を占めているのが民生費で、障害者の自立支援費に4億1,293万円、介護保険広域連合への負担金として2億7,913万円、重度心身障害者や乳幼児、ひとり親家庭などの医療費補助に9,935万円使いました。また、教育費では、小学校屋内運動場耐震補強工事に2億4,283万円、幼稚園就園奨励補助金に1,808万円、衛生費では、ごみやし尿の処理に4億2,899万円使いました。

決

一般会計

70億5,627万円 支出

EXPENDITURE



・商工費…1億6,761万円 (2.4%)
・消防費…3億3,980万円 (4.8%)

・農林水産業費…1億6,344万円 (2.3%)
・その他(議会費…1億1,747万円、労働費…2,148万円) (1.7%)

項目別支出内訳

民生費

- 障害者の自立支援に(4億1,293万円)
- 介護保険広域連合負担金に(2億7,913万円)
- 重度心身障害者や乳幼児、ひとり親家庭などの医療費補助に(9,935万円)
- 児童手当に(2億4,155万円)
- 老人保護措置の委託に(2,159万円)
- 社会福祉協議会への補助金(4,292万円)
- 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金(3,343万円)

総務費

- 旧鞍手南中学校の改修費に(1,708万円)
- 定住促進奨励金(856万円)
- 鞍手駅関連施設の管理に(664万円)

衛生費

- ごみやし尿の処理に(4億2,899万円)
- くらて病院の負担金に(2億9,444万円)
- 予防接種の業務委託に(3,327万円)
- 母子保健対策に(1,631万円)
- 合併浄化槽の設置補助に(418万円)

教育費

- 小学校屋内運動場耐震補強工事に(2億4,283万円)
- 幼稚園就園奨励補助金(1,808万円)
- 外国青年招致事業に(503万円)

土木費

- 下水道事業の補助に(3億4,967万円)
- 道路や橋の新設や整備に(1億1,862万円)
- 水路や河川の整備に(2,382万円)
- 町営住宅の維持管理に(3,493万円)

消防費

- 直轄広域消防の負担金に(2億9,753万円)
- 防火水槽の新設に(507万円)
- 防犯灯の整備に(217万円)

商工費

- コミュニティバス等・路線バスの運行維持に(6,848万円)
- 地域経済活性化支援事業(くらてまち振興券)(3,136万円)
- 学校まるごとアニメ事業に(2,251万円)

農林水産業費

- 多面的機能支払事業に(4,351万円)
- 農業基盤整備促進事業に(3,103万円)
- 計画転作の推進に(1,436万円)

財政健全化判断比率と資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、毎年度、市町村の財政状況に関する指標を報告することが義務付けられています。平成27年度の鞍手町の財政状況に関する指標は次のとおりで、健全化基準を超えている会計はありません。

○財政健全化判断比率

単位：%

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
鞍手町の比率	—	—	8.3	なし
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	基準なし

※(—)表示は黒字

○公営企業の資金不足比率

単位：%

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
鞍手町水道事業会計	—	20.00
鞍手町流域関連公共下水道事業特別会計	—	20.00

※(—)表示は資金不足なし

／実質赤字比率…一般会計等の赤字から財政運営の深刻度をみる比率／連結実質赤字比率…町のすべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率／実質公債費比率…借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率／将来負担比率…町が抱える負債の残高から将来の財政への危険度をみる比率／資金不足比率…資金の不足割合から経営状況の深刻度をみる比率

国民健康保険事業特別会計

▷収入…24億8,030万円 ▶支出…25億8,357万円

自営業の人や退職者などの医療費を給付する会計です。主な収入は、保険税と国庫支出金。主な支出は、医療費や後期高齢者支援金などです。

●対象者 2,739世帯 4,468人 ●1人当たりの医療費 408,476円



後期高齢者医療特別会計

▷収入…2億3,746万円 ▶支出…2億3,646万円

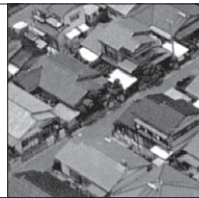
老人保健制度に代わり、平成20年度から始まった後期高齢者医療制度を運営するために設けられた会計です。県内のすべての市町村が加入する福岡県後期高齢者医療広域連合が運営主体となり、町と協力して制度運営に当たっています。平成27年度の対象者は、2,650人です。



住宅新築資金等特別会計

▷収入…117万円 ▶支出…117万円

旧同和地区の住宅環境を改善するための会計です。収入は、貸付金の回収金。支出は、一般会計への繰入金です。



流域関連公共下水道事業特別会計

▷収入…7億8,693万円 ▶支出…7億8,684万円

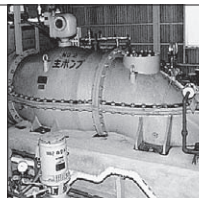
生活環境の向上と河川の汚濁防止を目的に下水道を整備するための会計です。支出の約56.3%は、中山地区などの下水道管の整備に使われました。また、9.4%は、中間市に建設している終末処理場（中間市、水巻町、遠賀町との共同事業）の建設負担金や維持管理負担金です。



かんがい施設維持管理運営費特別会計

▷収入…3億2,104万円 ▶支出…3億2,103万円

西川沿い11か所に設置されているポンプの維持管理をするための会計です。収入は、基金からの繰入金や基金を運用して購入した国債などの利息です（平成27年度は、利息等2億8,266万円を積み立てています）。支出は、運転手の賃金やポンプを稼働させるための維持管理費です。



谷山池パイプライン水利施設維持管理運営費特別会計

▷収入…6,489万円 ▶支出…6,489万円

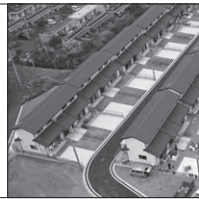
農業用水を確保するために室木の谷山池から倉坂地区まで約13キロにわたって設置されているパイプラインを維持管理するための会計です。収入は、基金からの繰入金や基金を運用して購入した国債などの利息です（平成27年度は、利息等6,245万円を積み立てています）。



泉水団地改良住宅移設事業特別会計

▷収入…9,474万円 ▶支出…9,474万円

旧炭鉱跡から高濃度の鉄分を含む排水「赤水」が出ており、国の指導のもとで処理施設を建設するため、泉水改良住宅の一部を移転するための会計です。平成24年度から平成27年度までの4年間事業で、収入のほとんどは、「独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構」からの負担です。支出は、団地の造成や町営住宅建設に使われます。



地方独立行政法人くらて病院貸付金特別会計

▷収入…2億8,682万円 ▶支出…2億8,682万円

地方独立行政法人くらて病院（旧町立病院）への貸付金などを管理するための特別会計です。収入は、町が直接借り入れる町債と町債の償還に関してくらて病院から受け取る負担金です。支出は、町が借り入れた町債をくらて病院に貸し付ける貸付金と町債の元利償還金です。



特別会計 (収入) **42億7,334万円** (支出) **43億7,551万円**

企業会計 (収入) **3億778万円** (支出) **3億1,728万円**

水道事業会計 収入…3億778万円 支出…3億1,728万円

水道事業の運営のために設けられた会計です。収入の大部分は、私たちが支払った水道料金です。支出は、安全な飲み水を作るための費用です。

●給水戸数 6,681世帯 ●給水人口 14,631人



一般会計のほかには、8つの特別会計と1つの企業会計があり、どの会計も私たちの暮らしを支えるために役立っています。



※数字は四捨五入しているため、必ずしも合計と一致するとは限りません。